4 水管理と病害対策を徹底しましょう。
6 生理障害や病害虫の発生に注意しましょう。
8 道外トップセールス報告
9 令和5年度　新規就農者激励会
10 資源米試験調査
12 トピックス
14 早期発見、早期治療のために人間ドックを受診しましょう!
15 林修先生と学ぶ「国消国産」講座
16 来月のカレンダー


# 大雪清流 てっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori

樽井組合長がJA北海道中央会代表理事会長に就任

## 特集:新役員体制が発足

みずと くらす。 JAひがしかわ

7 2023
vol.599

# 樽井組合長がJA北海道中央会代表理事会長・当JA会長理事に新組合長に牧清隆前専務理事、新専務・信用担当理事に高倉直樹理事が就任

# 新役員体制が発足

6月20日（火）に行われたJA北海道中央会（正式名称：JA北海道農業協同組合中央会）の第69回通常総会における役員改選において、小野寺俊幸代表理事会長（JAところ）が任期満了で退任され、当JAの樽井功組合長が新たに同会の代表理事会長に就任されました。

樽井功会長は新任挨拶で、『JAグループ北海道の代表として、農業政策の立案・折衝・総合調整、JA相談支援機能と担い手の確保・育成支援を強化していく。会員である道内JA、並びに北海道信連、ホクレン、北海道厚生連、共済連北海道の負託に応えられるよう、役職員一丸となり最善の努力をすることを約束する』と抱負を述べられました。

道連の常勤役員就任には、当JAとしては平成26年に板谷重徳組合長（当時）がホクレン代表理事副会長に就任して以来で、上川管内からJA北海道中央会会長は、昭和42年就任の早坂正吉氏（美瑛町農協）と平成8年就任の藤野貞雄氏（富良野農協）のお二方だけです。

また、同会の会長就任はJAグループ北海道のトップということで、今後の北海道農業のけん引役として、ご活躍を期待しております。

この就任に伴い、6月23日（金）に開催した当JAの第9回理事会において、樽井功組合長が会長理事に、代表理事組合長に牧清隆前専務理事・信用担当理事が、専務理事・信用担当理事には高倉直樹理事が各々就任しました。当JAの新役員体制は次の通りです。

会長理事　樽井　功
代表理事組合長　牧　清隆
専務理事兼信用担当理事　高倉　直樹
理事参事　樽井　博行
理事　金巻　克己
理事　馬場　伸二
理事　林　克政
代表監事　森山　守
常勤監事　片山　孝司
監事　岡村　博信

## 就任挨拶

JA北海道中央会代表理事会長
JAひがしかわ会長理事
**樽井　功**

組合員の皆様におかれましては、日頃より当組合の事業運営にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、野菜の収穫作業や農作物の肥培管理などお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

さて、6月20日に札幌市で開催されました北海道農業協同組合中央会（以下　JA北海道中央会）第69回通常総会および理事会において、私が代表理事会長に選任され、就任いたしました。今後は、その任の重さをしっかりと受け止め、全身全霊で職務を全うできるよう努力してまいります。

今、私たちの「食」と「農」を取り巻く環境が、大きな転換点を迎えています。

未だに収束が見通せないロシアによるウクライナ侵攻、資源価格の高騰、円安と国内経済の



構造変化、さらには世界規模での自然災害頻発や人口増加など、世界の食と農業生産のリスクは増大し、顕在化しています。

そのようななか、国は本年5月、農政の基本方針となる「食料・農業・農村基本法」の見直しに向けた中間とりまとめ案を提示しました。基本法制定から20年以上が経過し、農業をめぐる環境が激変するなか、国民の命の源となる「食」と、それを生み出す「農」を持続可能なものにするには、国内生産の増大を基本とした食料安全保障の強化をはじめ、万全な食料・農業・農村政策の確立が急務であります。

一方、北海道は、国内の耕地面積の25％を占める国内最大の食料生産基地であり、私たち農業者やJAが国民に対して食料を安定供給する大きな責任を果たすとともに、農業振興を通じて北海道経済の発展に寄与していかなければなりません。道内経済の基盤は、一次産業と「食」をテーマとした観光産業がけん引し、地域社会を守るためには、北海道農業の持続的な発展が欠かせないと思っています。そのためにも、次代を担う農業者が意欲を持って安心して農業を続けられる環境づくりこそが、JA北海道中央会をはじめ、各連合会・道内JAに課せられた大きな課題として捉え、私自ら先頭に立って取り組んでまいる決意です。

今後、当組合においては会長理事の職に就き、新たな代表理事組合長には牧清隆理事、専務理事には高倉直樹理事が6月23日にそれぞれ就任いたしました。

新たな執行体制になりましても、組合員の営農と生活を守り、利用者・地域住民の信頼と負託に応える健全な事業運営に努めてまいります。引き続き、組合員の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、このたびのJA北海道中央会代表理事会長、ならびにJAひがしかわ会長理事就任のご挨拶といたします。

JAひがしかわ
代表理事組合長
**牧　清隆**

平素より組合員の皆様、ならびに関係各位の皆様におかれましては、当組合の事業・活動に対し格別のご高配、そしてご理解、ご協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

このたび、樽井功前組合長のJA北海道中央会代表理事会長就任に伴い、当組合の新たな執行体制を決定するにあたり6月23日開催の理事会において、私が代表理事組合長に選任されました。

樽井功前組合長が築いてきた永きにわたるご功績の後任を務めるにあたり、その重責を担うことに身が引き締まる思いではありますが、東川農業がさらに発展していくよう、精一杯尽力してまいります。

本年は、私たちの農業・農村・JAにとっては将来をかけた重要な年であります。

現在の「第16次東川町地域農業振興計画」、「第18次東川町農業協同組合中期経営計画」が最終年であり、新たにSDGs活動や「ひがしかわアグリ2050宣言」を取り入れながら当初目標に対する総括と、組合員や行政・関係機関との議論・検討のもと次期中期計画の策定に着手いたします。

生産者の皆様が安心して営農を継続できるよう進めております「ひがしかわライスターミナル」では、東川町よりご支援をいただいたおかげで、本年8月より第一期の「高機能性精米施設」建設工事が開始されます。

今後は、東川米の集荷率同様、組合員の皆様の利用結集に向けて、効率性の高い利用方法や組織的な運用体制の確立など、しっかりと詰めの協議を進めてまいります。

さらに新規事業であります「資源米」試験栽培とライスレジン製品の開発や、東川産農産物・加工品の輸出拡大、野菜生産振興の強化など、未来につなげる事業活動を志してまいります。

組合員の皆様をはじめ、関係各位の皆様には、JAひがしかわに対しまして、今まで以上のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご多幸を心よりお祈り申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

JAひがしかわ専務理事
信用担当理事
**高倉　直樹**

組合員の皆様には、日頃より当JAの事業運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私こと、先般開催の理事会により、専務理事ならびに信用担当理事を拝命いたしました。

農業・JA組織を巡る情勢が大きな転換期を迎えようとしている今、当JAの将来にとっても大変重要な時期であり、このような重責を担わせていただくことに責任の重大さをあらためて痛感し、使命感と緊張感を持って業務遂行に努力する所存でございます。

国内経済を取り巻く情勢は、貿易摩擦による国際環境が不透明であり、加えてロシアによるウクライナ侵略や気候変動がもたらす災害の影響等、また、地域金融機関においては、人口急減・超高齢社会への構造的要因や低金利の長期化により、信用事業の基礎的収益力は低下し、金融・共済事業は更に厳しさを増すばかりです。

こうした厳しい環境下でも、協同組合運動と総合事業性の特性を活かし、組合員の皆様より一層信頼されるJA運営のために最大限の努力を注いでいくことが重要であると考えておりますので、皆様方のご厚情と更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

# 水管理と病害対策を徹底しましょう。

水管理や防除、畦畔の草刈りなど、管理作業が大変な時期ですが、今後の栽培管理の注意点を確認し高品質米生産につとめましょう。

稲作

## 1. 収量確保のため水管理を徹底しましょう

前歴期間終了後の冷害危険期もしっかり深水管理をしましょう。（前歴期間10日以降の約7日間）冷害危険期に低温に遭遇すると正常な花粉が減少し、収量低下へ繋がります。冷害危険期は止葉と前葉の付根にある「葉耳」の間隔（葉耳間長）を計測して判断します。止葉と前葉の**葉耳間長が－5㎝（写真1）で冷害危険期の始まり**となります。

水深は**幼穂の伸長に合わせて徐々に深くし、最大18～20㎝**を保ち、低温から幼穂を守りましょう。天候不順が続くと止葉の抽出が鈍り冷害危険期が長引きますので、葉耳間長を確認して適時深水期間の延長を図ってください。また、晴天などの気温が高い場合は浅水管理を行い、分けつを促進させましょう。

## 2. 冷害危険期終了後には根の活性化を行いましょう

前冷害危険期が終了したら中干の実施をしてください。**圃場全体の80％程度が止葉と前葉との葉耳間長が＋5㎝（写真3）に達したら冷害危険期の終了**です。長期間の深水により、根の活性が低下していますので中干を行い、再度、根に酸素を与え活力を向上させましょう。同時に溝切を行うと効果的です。

写真1
葉耳間長－5㎝
（冷害危険期の始まり）

写真2
葉耳間長±0㎝
（冷害危険期の最中）

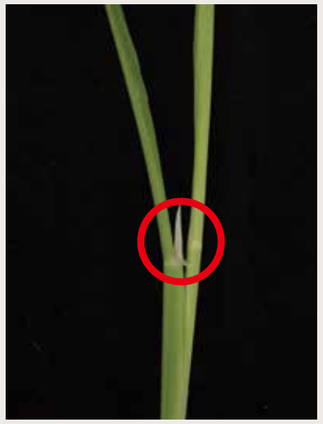
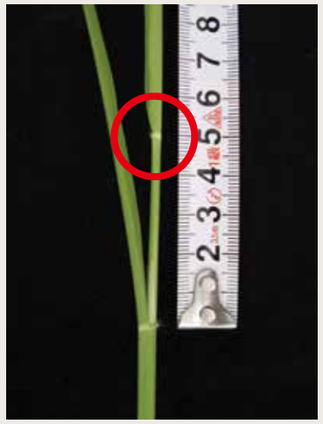


写真3
葉耳間長＋5㎝
（冷害危険期終了）





## 3. ケイ酸資材の追肥

ケイ酸資材の追肥を実施することにより、茎の強度が向上し耐倒伏性が向上します。葉全体が直立することにより下葉にも太陽光が当たるようになり、でん粉の成分と転流が活発になる為、タンパク含有率が下がり、食味の向上などが期待できます。

## 4. 注意すべき病害虫について

**（1）いもち病**

いもち病は、風速が低く、日照がない条件で葉面湿潤時間が10時間以上となった時、平均気温が15～25℃であれば感染に好適な条件となります。特に山際などの日陰になりやすい水田は注意し、圃場予察、適期防除を併せて行いましょう。

発生予察は幼穂形成期5日後から約7日間隔で出穂期まで見歩き調査を行ってください。予察の結果、葉いもちが見つからない場合は、基幹防除のみの対応も可能となります。また、**いもち病は出穂後20日間の内に発生すると減収の可能性があるため、適正防除**に努めてください。

**（2）アカヒゲホソミドリカスミカメ**

アカヒゲホソミドリカスミカメは、出穂期に第2世代成虫が浸入し産卵します。その後の第3世代幼虫が加害の中心となることから、**防除適期は、出穂期と出穂後7～10日が目安**となります。被害を受けると、斑点米の原因となるため、圃場周辺の草刈りと予察を行いましょう。

**（3）ウンカ類**

近年、ウンカ類の発生増加に伴い、「縞葉枯れ病」の発生が見られております。定期的な予察を実施し、予防防除など対策を講じましょう。

写真4　葉いもち

写真5　アカヒゲホソミドリカスミカメ（成虫）

写真6　縞葉枯れ病

# 生理障害や病害虫の発生に注意しましょう！

7月は気温上昇・日照量増加に伴い、トマトやピーマンなどの果菜類は生理障害の発生が多くなります。原因と対策を確認し発生を防ぎましょう。また、病害虫の発生も多くなっております。適期防除を行い、収量・品質向上に努めましょう。

野菜

## 1．品目別栽培管理

### ○トマト

- ハウス内が30℃を超えると株の体力が消耗し、受粉不良や落花の発生が懸念されるため、気温や灌水管理等に注意しましょう。また、株にかかる着果負担は一段目収穫開始直前(6段目開花頃)が最大となります。草勢の低下は生育遅延や中段以降の着果不良につながるため、適切な追肥による草勢管理を行って下さい。
- 灰色かび病は、気温20℃前後の湿度が高いときに発生が多くなります。薬剤を散布する前に、がく部に付着した花や傷んだ葉、収穫段下の老化した葉を取り除いて、ハウス内の通気性をよくしてから予防防除してください。

### ○ピーマン

- 高温性の野菜ですが、ハウス内の気温が32℃を超えると落花しやすくなります(花粉の受精能力の低下)。こまめに換気を行うとともに、L･M中心の収穫や内側の混みあった枝を整理し、着果負担を軽減させましょう。
- こまめな灌水(少量多回数灌水)を実施し、常に土壌の適湿を保ち、尻腐れ果や生長点の焼け症状の発生を防ぎましょう。
- アブラムシ、スリップス、ハダニはこまめに観察して、初期段階での防除を徹底してください。

### ○長葱

- アザミウマ類やハモグリバエの発生が増加するので、定期的な予察と初発防除を心がけましょう。
- 露地長葱の最終土寄せは、収穫前25日前後を目安に行いますが、生育が遅れている場合は十分に生育してから行い、軟白部の長さを35cm以上確保しましょう。

＜培土の目安＞

| 培土時期 | 方法・注意事項 |
|---|---|
| 定植 20 日目頃<br>葉鞘の太さが 8 ～ 12mm | 2 ～ 3 回に分けて植溝が平らになる程度に埋め戻す |
| 定植 40 ～ 50 日目頃<br>葉鞘の太さが 15mm 程度<br>葉数が 4 ～ 5 枚になった頃 | 葉の分岐点が埋まらない程度に培土を行う<br>葉の分岐点が埋没すると生育が遅れる |
| 定植 70 ～ 80 日目頃 | |
| 定植 100 日目頃<br>収穫予定の 3 週間前 | 葉の分岐点が埋まらない程度に培土を行い、鍬などで手直しする |



### ○ブロッコリー

- この時期、降水量が多く、夜温が高く昼夜の温度差が小さいくなると花蕾腐敗病が多発する傾向にあります。この病気は、数種類の病原菌(軟腐病菌、腐敗病菌、黒班細菌病菌など)が単独もしくは重複感染して発病します。対策として、花蕾形成始前後にカルシウム剤の葉面散布や銅水和剤での防除を実施すると発生を軽減されます。

### ○スイートコーン

- 7月～8月にかけて、アブラムシが多発するため、適期防除を行い対策しましょう。また、絹糸抽出前までに2回追肥を行い、俵の肥大促進に努めましょう。出穂・開花・受精の時期には水分が必要となります。水分が不足し、高温・乾燥状態が続くと先端不稔の原因となるため注意しましょう。

追肥
1回目：本葉4～7葉目
2回目：本葉8～雄穂出始めの頃

## 2. 生理障害について確認しましょう

### ○トマト

| 障害名 | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| 乱形果 | 花芽分化期の低温・強草勢 | 適正な温度・草勢管理 |
| 尻腐れ果 | カルシウム欠乏<br>(夏季高温時の乾燥) | 適正な施肥・水分管理、石灰資材の施用 |
| 裂果 | 果実への強日射、急激な水分変化 | 遮光資材の活用、少量多潅水を行う<br>(急激な水分変化を起こさない) |
| グリーンバック果 | 窒素過多、高温・乾燥 | 適正な施肥・水分管理 |

### ○ピーマン

| 障害名 | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| 尻腐れ果 | 高温時の水分不足<br>カルシウム欠乏 | 土壌水分の保持、石灰資材の葉面散布 |
| 日焼け果 | 強い直射日光により果面が 40℃以上で発生しやすい | 適度に葉かげを作る整枝を行う |
| 変形果 | 過度の低温、高温による受精不良 | 生育にあった温度管理、潅水を行う |

尻腐れ果

**※作物の異変や不明な病害虫被害がございましたら**
**営農指導課（TEL 82-2124）までお問い合わせください。**

# 道外トップセールス報告

5 月 29 日（月）、菊地町長、樽井組合長によるトップセールスを実施致しました。

本年度は本町の営農継続を目的とする農業基盤強化の柱となる「ひがしかわライスターミナル」の第 1 期建設費に関わる支援（補助）補助決定へのお礼と引き続き（第 2 期建設費）の支援要請、また、新たな取組となる環境配慮型農業「資源米」の取組説明（理解醸成）のため、参議院議員会館、および農林水産省へ伺いました。

(中央)船橋参議院議員

(右中央)荒木第一秘書

東川町(菊地町長、市川副町長、矢ノ目課長)

JA (樽井組合長、牧専務、片山常勤監事、米田部長、高橋部長)

議員会館では船橋参議院議員、岩本剛人参議院議員の第一秘書荒木氏と面談。

農林水産省では農産局企画課 三野課長、上松課長補佐、板倉調査官、穀物課 須田係長にご対応頂き、「令和 5 年産に向けた水田農業の取組方針」「北海道農業の課題」について意見交換を行いました。

本町の取組みについて共感頂いたとともに、要望に対しても前向きなご意見を頂くことが出来ました。

## 東川町蔬菜園芸研究会
## 令和5年度 東川町蔬菜園芸研究会夏の生産者の集い

6月20日（火）、JAひがしかわ野菜集荷場前にて、令和5年度東川町蔬菜園芸研究会夏の生産者の集いが開催され、ひがしかわサラダ生産者･取引先約80名が集まりました。

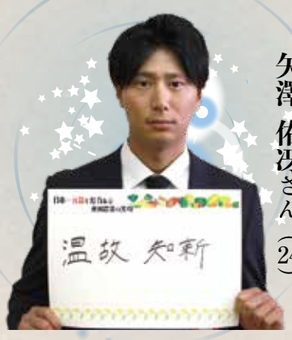
東川町蔬菜園芸会松家会長の開会の挨拶後、JA ひがしかわ 牧専務理事、ひがしかわサラダ取引先の株式会社キョクイチ 小野執行役員、丸果旭川卸売市場株式会社 蔬菜第二事業部今野副部長より挨拶を頂き、札幌みらい中央青果株式会社 営業推進部実需販売課 小池田課長の乾杯の掛け声で懇親会が始まりました。生産者、取引先、JA ひがしかわ職員がそれぞれの思い、意見を伝えあいました。懇親会は、株式会社カネモ 蔬菜部三鍋課長の一本締め、JA ひがしかわ溝口副会長の閉会の挨拶で終了いたしました。

# 令和5年度 新規就農者激励会開催！

6月15日（木）、JAひがしかわ2階ホールにてJAひがしかわ青年部主催「令和5年度 新規就農者激励会」が開催されました。今年度は2名が就農し、JAグループから激励状が授与されました。樽井組合長は、「農業を楽しみながら、食で人の命を守り繋げる仕事に自信と誇りを持ち、様々なことに挑戦し、東川農業を盛り上げていきましょう」と挨拶し、市川副町長は、「農業情勢が大きく変わるなか、今年2名の方が東川で農業をすることを決断したことは、農業への魅力や、やりがい、将来性があると考えたからだと思います。そう感じさせたのは、農業を行う先輩方、JA、各関係機関の先進的な取組や実績から、農業を行う価値を深め、農業の素晴らしさを表現したおかげです。深く敬意を表します」と激励されました。

父は、牧清隆さん
牧 祐太（まき ゆうた）さん（23）

**栽培作物：**水稲
**趣　　味：**木工（DIY）
**抱　　負：**高品質なお米を生産し、一人でも多くの消費者へ届けたい！




(株)丸巳に就農
矢澤 佑冴（やざわ ゆうご）さん（24）

**栽培作物：**水稲・畑作・露地野菜
**趣　　味：**読書・映画鑑賞・剣道
**抱　　負：**温故知新の精神のもと、消費者に認められる高品質な作物生産に努めてまいります！

# 資源米試験調査

資源米試験調査は、上川郡東川町に「ライスレジン用資源米」の栽培実証圃を設置し、調査内容によって得られた情報を基に上川地区における『資源米栽培体系モデル』の確立を目的として実施します。

## 1 調査期間

令和5年4月より令和6年9月（2年間）

## 2 試験区分・調査場所

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①省力化技術活用型栽培 | 上川郡東川町西5号北31番地 | 圃場 | 201.3 a |
| ②圃場選定型多肥栽培 | 上川郡同　東3号北31番地 | 圃場 | 229.6 a |
| | | 計 | 430.9 a |

## 3 試験概要・経過

### ①省力化技術活用型栽培

多収性品種の育苗技術（短期苗）等により、既存施設を活用した育苗コストの低減、田植え作業の省力化などの省力化技術活用型栽培試験を実施します。

上川地区における短期苗の「資源米の適用性」と農地集積・経営規模拡大に伴う育苗施設など、新たな設備投資を抑制させ、資源米生産の収益確保や稲作労働環境の整備状況を調査します。

**(1) 耕種概要**

| 品目 | 育苗様式 | 播種日 | 移植日 | 育苗日数（日） | 株間 (cm)<br>栽植密度 ( 株 /㎡ ) |
|---|---|---|---|---|---|
| 水稲うるち | 高密度播種<br>短期育苗 | 4/28 | 5/18 | 20 | 13.9<br>21.9 |

**(2) 苗質調査(5/18調査)**

| 品目 | 草丈 (cm) | 葉数（枚） | 第一鞘高 (cm) | 分げつ ( 本 ) |
|---|---|---|---|---|
| 水稲うるち | 7.7 | 1.9 | 3.1 | 0 |

**(3) 処理区分**
施肥量(kg/10a)

| 区　分 | 施肥 | 銘柄 | 施用量 | N | P | K |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 省力化技術活用型 | 基肥 | 鶏ふんペレット<br>化成 484 | 30<br>30 | 1.26<br>4.2 | 0.87<br>5.4 | 0.75<br>4.2 |
| | 側条 | 側条 444 | 20 | 2.8 | 2.8 | 2.8 |
| | 計 | - | - | 8.26 | 9.07 | 7.75 |



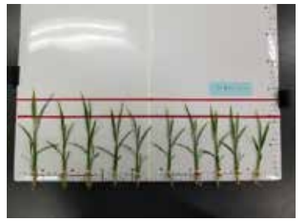
### ②圃場選定型多肥栽培

上川地区で進む農地再編整備事業や田畑輪換等により、地力の高い復元田や土壌別の窒素依存度と施肥量を調整する圃場選定型多肥栽培試験を実施します。

現在の作業体系を変えることなく、水稲（資源米）や転作作物の生産を可能とし、今後見込まれる担い手への農地集積・経営規模拡大にも耐えうることのできる営農体系技術を調査します。

**(1) 耕種概要**

| 品目 | 育苗様式 | 播種日 | 移植日 | 育苗日数（日） | 株間 (cm)<br>栽植密度 ( 株 /㎡ ) |
|---|---|---|---|---|---|
| 水稲うるち | 成苗ポット | 4/25 | 5/26 | 31 | 15.3<br>19.9 |


苗質調査

**(2) 苗質調査(5/26調査)**

| 品目 | 草丈 (cm) | 葉数（枚） | 第一鞘高 (cm) | 分げつ ( 本 ) |
|---|---|---|---|---|
| 水稲うるち | 13.3 | 4.6 | 2.5 | 0.8 |

**(3) 処理区分**
施肥量(kg/10a)

| 区　分 | 施肥 | 銘柄 | 施用量 | N | P | K |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 圃場選定型 | 基肥 | 化成 484 | 58 | 8.12 | 10.44 | 8.12 |
| | 側条 | 側条 444 | 20 | 2.8 | 2.8 | 2.8 |
| | 計 | - | - | 10.92 | 13.24 | 10.92 |

## 4 調査項目

| 調査項目 | 調査内容 |
|---|---|
| 生育期節 | 出穂期　成熟期 |
| 生育調査 | 苗質、草丈、茎数、穂数、稈長、穂長、一穂籾数、稔実歩合 |
| 収量調査 | 粗玄米重、千粒重 |

## 5 設置および調査スケジュール

| 時期 | 作業内容 | 調査項目 | 時期 | 作業内容 | 調査項目 |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 月中旬 | 移植 | 苗質、移植日、播種日 | 8 月下旬 | 成熟期調査 | 稈長、穂長、穂数、一穂籾数、不稔籾数 |
| 6 月上旬 | 調査地点設置 | 株間 | 9 月中旬 | 坪刈 | 成熟期 |
| 6 月 20 日頃 | 初期生育 | 草丈、茎数 | 10 月中旬 | 収量調査 | 総重、籾重、粗玄米重、精玄米重、千粒重、粒厚分布 |
| 7 月下旬 | 出穂期調査 | 茎数、出穂茎数、出穂期 | | | |

## 6 米由来の生分解性被覆肥料試験（ネオリザ）

現在、緩効性肥料の一つとして、肥料成分を合成樹脂などの膜でコーティングした被覆資材が活用されているが、被膜が河川等に流出する懸念があることから、新たな米由来生分解被覆の開発を行っており、資源米試験調査に合わせて、今年度についてはその分解能力を調査します。

## 北海道東川高等学校の教育探求授業について

6月2日（金）、北海道東川高等学校にて、第2学年の「東川町の魅力と課題」をテーマに行っている地域探求授業にて、基幹産業分野の講師として講話をしました。当日は、株式会社 大雪水資源保全センターより、「大雪旭岳源水」の美味しさの秘訣や、Sophia BlissよりHUC立上げについて、JAひがしかわは、東川農業の概要や課題及びJAひがしかわの取組について説明いたしました。生徒は、東川農産物の特徴や加工品について質問するなど東川農業について関心を抱き、有意義な授業となりました。

### JAひがしかわ野球部
## 上川管内JA野球大会

6月12日（月）、旭川ドリームスタジアムにて上川管内JA野球大会が開催されました。開会式では、JAひがしかわ野球部主将 田中職員が選手宣誓を行い、開幕いたしました。初戦は、昨年、準優勝のJA北ひびきとの試合で、結果7対0のコールド負けと悔しい結果となりましたが、この悔しい気持ちを忘れず、今後の練習に取り組んで行きます。

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| JA ひがしかわ | 0 | 0 | 0 | 0 | ／ | 0 |
| JA 北ひびき | 0 | 0 | 3 | 4 | ／ | 7 |

試合の様子

選手宣誓する田中職員

JAひがしかわ女性部
## 家庭用野菜苗引渡し

5月30日（火）、家庭用野菜苗取りまとめの引き渡しが株式会社 松匠で行われ、部員15名が集まりました。今年は、569本の野菜苗が部員の皆様に引き渡され、それぞれの畑で植えられました。

丹精込めて育てられた野菜が食卓に出てくるのが楽しみですね。

JA HIGASHIKAWA Topics

## 令和5年度日本農業新聞全国大会

5月11日（木）、東京都内にて開催された令和5年度日本農業新聞全国大会で、日本農業新聞を規定の保有部数を満たし、3年以上普及率を維持・増部したことにより「長期普及優績JA」を受賞いたしました。

また、5月30日（火）、日本農業新聞北海道支所 岡部支所長が来所し、樽井組合長へ表彰状と副賞が渡されました。

今後も、農政・営農、市況などの農業や経営に必要な情報共有ツールとして普及を推進していきます。

日本農業新聞全国大会表彰の様子

左から、日本農業新聞 岡部支所長、本庄職員、樽井組合長、牧専務、日本農業新聞 原岡次長

### 日本農業新聞の購読について

正確・迅速な市況をはじめ、流通情報や最新営農情報、農政問題などを的確に伝える農業専門誌で毎日発行されています。

**紙面：2,520円（税込）**
- 年齢を問わず、家族や組織で共有して読むことができる
- パット見るだけで内容がわかりやすい
- 自分のお気に入りの記事を切り抜き等をして保存することができる

**電子版：2,403円（税込）**
- タブレットやスマートフォンからいつでも読むことができる
- 拡大・縮小が可能なため、文字が読みやすい
- 過去30日分の記事からキーワード検索が可能

**お問い合わせは、営農指導課（TEL82-2124）まで**

## くらし楽しくフェスティバル出展

5月27日（土）、28日（日）キトウシ森林公園にて第73回くらし楽しくフェスティバルが開催され、東川米とひがしかわサラダの認知度向上を目指すため考案された「トマトチキンカレー」を販売いたしました。「トマトチキンカレー」は、東川産トマト100%のトマトジュースを使用した、旨味が凝縮された濃厚なカレールーと、東川米を使用した特別なカレーで、毎年完売する人気メニューです。今年度も、両日とも完売し、食べたお客様からは「すごく美味しかった」「使用しているトマトジュースも買いたい」と話してくださいました。今後も、東川農産物の認知度向上を目指した活動に積極的に取り組み、消費者との交流を図っていきます。

## 林修先生と学ぶ「国消国産」講座

Lesson 1

# 日本で食べるものは、日本で作る「国消国産」をいっしょに考えよう

なぜ今？国消国産

### 生きるために欠かせない食料は、日本で作ったほうが安心

新型コロナウイルスの感染が広がり始めたとき、マスク不足が大きな問題になりました。もしこれが食料だったら、どうなっていたでしょうか。いざという時、マスクのような工業製品は急いで作れますが、農地を耕し、自然と調和しながら、長い年月をかけて育まれる農畜産物は、不足したからといってすぐに作れるわけではありません。

### 日本の「食」は、今さまざまなリスクに直面

今、日本の食料自給率は38％※です。つまり食料の約6割を輸入に頼っているのです。その大きな要因は、農家の減少や高齢化など、生産基盤の弱体化です。さらに、日本も含めた世界中で自然災害が多発しています。もし、日本が多くの食料を輸入している国で自然災害などが発生し、食料生産が大幅に減少したら、日本の食生活にも多大な影響を及ぼしかねませんが、食料の輸入は増加しているのです。さらに、今後も世界的な人口増加が予測される中、日本ではこれから先ずっと、食料を輸入し続けられるのかという懸念もあります。このように、日本の「食」は、多くのリスクに直面しているのです。

※カロリーベース 2019年 農林水産省による

**日本の「食」をとりまく5つのリスク**

- **食料自給率の低迷**　食料の多くを輸入に頼り続けている
- **農業生産基盤の弱体化**　農家の減少と高齢化、農地の減少が進む
- **自然災害の多発**　世界と日本の農業が多くの災害に直撃される
- **世界的な人口増加**　世界の人口増加で食料不足が懸念される
- **国際化の進展**　輸入増加で食料自給率低下の可能性がある

だから今！国消国産

### 「国消国産」で、「食」の安心を次の世代に

そのようなリスクにさらされている中で、JAグループは、「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」する、「国消国産」という考え方を提起しました。私たちの毎日の「食」の安心はもちろん、子どもや孫たちの世代にまで、この日本という土地で豊かな実りが絶えることのないように、おいしい食卓を囲む笑顔が絶えることのないように、「国消国産」は、日本の「食」のこれからにとって、大きな意義をもっています。

JAグループサポーター・林修

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ



## JA HIGASHIKAWA Topics

JAひがしかわ青年部・JAひがしかわ女性部

### JA女性部・青年部が考えた「農家めし」レシピ考案

6月6日（火）、上川管内のサポーターづくり、農畜産物の更なる消費拡大を目的として、JA上川地区青年部協議会・JA上川地区女性協議会合同で実施される地域の農産物を使用した「ご飯が進む農家めし」レシピ提供のため合同で調理を行いました。今回の食材は、ブロッコリーとトマトを使用した「ブロッコリーを使ったトマトリゾット」を考案しました。考案したレシピは、8月中旬頃上川ビルみはら食堂で提供されます。

ブロッコリーを使ったトマトリゾット

### 早期発見、早期治療のために人間ドックを受診しましょう！

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。

■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

**2023年8月**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 × | 2 × | 3 × | 4 × | 5 × |
| 6 × | 7 △ | 8 × | 9 △ | 10 × | 11 × | 12 × |
| 13 × | 14 ○ | 15 × | 16 ○ | 17 × | 18 × | 19 × |
| 20 × | 21 ○ | 22 × | 23 × | 24 × | 25 × | 26 ○ |
| 27 × | 28 ○ | 29 × | 30 × | 31 × | | |

**2023年9月**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1 △ | 2 × |
| 3 × | 4 △ | 5 × | 6 △ | 7 × | 8 × | 9 × |
| 10 × | 11 ○ | 12 × | 13 △ | 14 × | 15 × | 16 × |
| 17 × | 18 × | 19 × | 20 ○ | 21 × | 22 ○ | 23 ○ |
| 24 × | 25 ○ | 26 × | 27 ○ | 28 × | 29 ○ | 30 × |

正組合員（本人・同居家族）
准組合員限定

**人間ドック検診費用助成**

厚生病院での一般受診料金44,000円が

**31,900円に！**

※オプション検査は助成対象外

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日

予約表の見方：○10名以上の空き　△残りわずか　×予約が埋まっています

お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。

人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農指導課（TEL82-2124）まで

## 2023年 7月の予定

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 土 | スタンド通常営業　平日土曜　午前7:30～午後7:00<br>日曜祝日　午前8:30～午後5:00<br>招魂祭のため事務所・資材課休業 |
| 2 | 日 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00 |
| 3 | 月 | |
| 4 | 火 | |
| 5 | 水 | 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き） |
| 6 | 木 | |
| 7 | 金 | |
| 8 | 土 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00 |
| 9 | 日 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00 |
| 10 | 月 | |
| 11 | 火 | |
| 12 | 水 | |
| 13 | 木 | |
| 14 | 金 | |
| 15 | 土 | 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）<br>資材課営業　午前8:30～午後12:00 |
| 16 | 日 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00 |
| 17 | 月 | |
| 18 | 火 | |
| 19 | 水 | |
| 20 | 木 | |
| 21 | 金 | |
| 22 | 土 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00 |
| 23 | 日 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00 |
| 24 | 月 | |
| 25 | 火 | 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き） |
| 26 | 水 | |
| 27 | 木 | |
| 28 | 金 | |
| 29 | 土 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00 |
| 30 | 日 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00 |
| 31 | 月 | |

## 2023年 8月の予定

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 火 | スタンド通常営業　平日土曜　午前7:30～午後7:00<br>日曜祝日　午前8:30～午後5:00 |
| 2 | 水 | |
| 3 | 木 | |
| 4 | 金 | |
| 5 | 土 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00<br>5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き） |
| 6 | 日 | 資材課営業　午前8:30～午後12:00 |

## 理事会の動き

### 第8回 理事会　日程：令和5年5月30日（火）

【議決事項】

議案１号　令和５年産東川米の取扱方針（案）について
（㈱サタケ　高機能精米設備概要説明）
議案２号　ひがしかわライスターミナル関連付帯施設の取得について
議案３号　信用事業ならびに組合財産状況の開示（ディスクロージャー誌）について
議案４号　新規与信取引について
議案５号　修繕費の支出について
議案６号　理事の利益相反取引（クミカン貸越極度額設定）について
議案７号　不良債権の処理方針等について
議案８号　「第２回JA・組合員ふれあい祭り」の開催について
議案９号　労働組合からの夏期手当の要求について

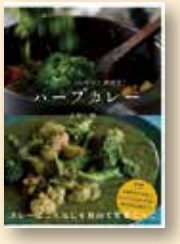
### 第9回 理事会　日程：令和5年6月23日（金）

【議決事項】

議案１号　要領の改定について
議案２号　執行体制について
議案３号　部門委員会委員の選任について
議案４号　理事の公式席順について
議案５号　関係団体に係る農協推薦外部委員の推薦について
議案６号　役員報酬の個別支給額の決定について
議案７号　令和６年度（令和５肥）に肥料価格の設定について
議案８号　北海道信連出資増口について
議案９号　寄付金の支出について

農協文庫 新刊

あたらしい食感を味わう
おとなのゼリー


やさしい！さわやか！
新感覚！ハーブカレー

はじめての苔インテリア
苔テラリウムから苔玉、苔盆栽まで

●葬儀・法要のご用命は…24時間フリーダイヤル
JA事業推進係　0120－82－2125へ

〒071-1495　北海道上川郡東川町西町1丁目5番1号　TEL0166-82-2121　発行所/東川町農業協同組合　責任者/牧　清隆　編集者/営農販売部　営農指導課